



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2021年12月8日発行

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 熊谷祐司 / 副会長 鶴田秀樹 / 幹事 森崎正治 / SAA 澤井一徳

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

2021-22年度

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

国際ロータリーテーマ

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

12月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
例会 例会 例会 Xmas 例会 休会 休会

本日のプログラム (12月8日)

楠部 滋 会員「高齢期の生き方について」

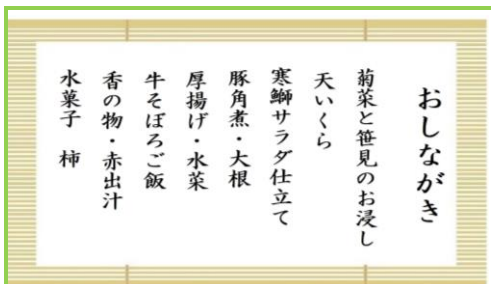
次回のプログラム (12月15日)

東広島市 市長 高垣廣徳 様
「選ばれる都市 東広島を目指して
～新たなまちづくり(次世代学園都市づくり構想)～」

第1218回 2021年12月1日 例会記録

点 鐘 熊谷会長
国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」

食 事 時 間



出 席 報 告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (12/1)	28 2	16 0	0	9 3	64.00
メイク					
前々回 (11/11)	28 2	17 0	1	5 5	78.46
メイク	楠部				

会 長 時 間

インタンジブルズとは、無形資産のことを言います。これは、貸借対照表には計上されない無形資産で、優良取引先を持っている、経営手腕が優れている、優秀な技術者がいる等々を言います。それでは何故このインタンジブルズが何度も語られるのでしょうか？それは、今、政府が新しい担保制度を考えているからです。その担保は、企業を丸ごと担保にする「包括担保」です。現在の担保制度は、不動産（抵当権等）、在庫（動産譲渡担保）、売掛金（債権譲渡担保）、預金担保（質権）等がありますが、各資産を個別に担保徴求する方法です。この方法は、担保実行が個別で行われるため、企業が解体されてしまいます。ところが、包括担保は企業丸ごと担保にしますので、実行する時は「事業譲渡」のような形態になり、不動産、在庫、債権のような有形資産だけでなく、インタンジブルズ（無形資産）も譲渡され、企業価値を損なわないで、また解体されないで、換価されることとなります。要するに高く売れるので銀行は多く回収できて、雇用や取引先なども守れる、ということです。ただ、取引銀行もメイン行だけになり、2行が1社に包括担保を設定することは困難になるかもしれません。想定通りにうまくいくかどうかわかりませんが、本気で検討しているようです。今日は、今後の担保法制につきまして情報提供をさせていただきました。



幹事報告

《配布物》ロータリーの友、ガバナー月信 12月号
週報 1217回、卓話資料

《回覧》12月例会出欠表
クラブ活性化ワークショップ
東広島市社協便り 2021. 12. 1号

広島空港ロータリークラブ様から 介護予防用品のご寄付をいただきました

広島空港ロータリークラブ様より、地域サロン等の活動で使用する介護予防用品のご寄付をいただきました。参加者のフレイル予防や認知症予防、地域交流の活性化に活用させていただきます。



卓話時間

河井会長エレクト



「地区・クラブ活性化ワークショップに参加して」

日時 2021年11月23日(火祝)10:00~17:00

場所 広島コンベンションホール広テレビビル2階

3日間で行われるRLIに行かれた方は、それを一日に凝縮して研修と言えば受講された方は想像が付くのではないのでしょうか。必ず一人ずつ発表しなければならないのがこのワークショップなのですが、できる限り喋りたくない気持ちが強くなります。短絡にお答えしようとしても、これは無駄なことになります。制限時間いっぱいディスカッションを行いますので、各研修担当の方が何かにつけて順番に質問をされます。今回の参加者全員がベテランの次年度会長なので、逆に担当者へ手をあげて質問をされる方も沢山おられる事に衝撃を受けました。

公共イメージ活動

みなさんユーチューブで「ロータリークラブ」と検索かけてみてください。このユーチューブにイベントなど掲載することは我がクラブでも広報活動に有効だと思いますし、クラブの良さを全国の皆さんに伝える手段に適しているのではと考えます。

米山記念奨学会

米山奨学会は東京 RC が奨学事業を立し、米山基金は1953年から70年近く募金を続けられている、とても大きな事業です。

◆米山奨学事業の使命◆「日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーのよき理解者となる人材育成をすることであり、これがロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのもの」

この研修を受ける前と後では米山に対して意識が変わりました。可能であれば米山地区委員会の方に来ていただき卓話を利用して研修できればと考えます。当然私も含め、ロータリー歴が浅い方も米山奨学事業の使命・目的をしっかりと理解し今後の活動に活かしていきたいです。今年度、当クラブで受け入れているヴィさんも、いずれ日本との懸け橋となられ、活躍される事を期待します。

奉仕プロジェクト

我がクラブでは地区補助金の活用が社会奉仕プロジェクトの対象となりますが、併せて昨年度は国際奉仕として使用済み切手やはがき等を集め日本国際ボランティアセンターへ郵送しました。また、ロータリー奉仕デーとしまして秀和さんで献血活動も行いました。その活動内容も回覧している資料に取り上げられています。改めて各クラブにおいての活動情報を教えていただけると、参考になります。

クラブ管理運営

「所属クラブのDX実施状況や課題に関して」
※DXとはデジタルトランスフォーメーション：デジタルによる変革の略であり、コロナ禍での各クラブのデジタル活用方法についての設問です。
当クラブの取り組みではZOOMを利用したオンライン例会、理事会など行った旨を発表しました。現在は落ち着いているのでリアル例会が行われていますが、他クラブの方は「リアル例会でないロータリーではない」と言われる方もおられ、また広範囲地域の方が集まるクラブでは「オンラインにしたら欠席者が増えるかも」と考え、あえてリアルで行っているクラブもありました。確かに、このワークショップそのものもリアルだったからこそ他クラブの皆さんの声や考えが深く響いてくるのだと感じました。
今回のワークショップにおいて私なりに習得したこと沢山ありましたが、今後どう活かしていくかは私も然り、皆さん一人ひとりの意識の持ちようかなとも思います。

ロータリー財団

財団委員会 佐々木委員長

地区補助金について

